

いつものように使えること

過日の授業参観及びPTA講演会、学級懇談会では、ご多用の中多くの皆様にお越しいただきありがとうございました。感染症の流行で健康面での心配は続きますが、引き続き教育活動を充実させて参ります。今後ともよろしくお願いいたします。

さて、少し前の話になりますが、11月6日に防災トイレの設置訓練が本校で行われました。災害時に屋外に設置する公共トイレです。

東小学校の校庭南東側、バックネット付近にはマンホールトイレがあります。今回は、上田市公共下水道総合地震対策計画に基づいた、地域の皆様をお迎えしての設置訓練です。水道課の皆様を中心に実施していただきました。



マンホールのふたを開け、左写真のような簡易トイレを設置します。その後、周りに背の高いテントを建てて完成。同様のトイレを5基設置することができます。

このトイレのすごいところはこの後です。災害時のトイレは貯め込み型のものが多いそうですが、このトイレはなんとプールの水を用いて排水することができるのです。下の写真のように、小型のポンプを用いて規定量を地下タンクに送ります。汚水が溜まったところでバルブを開くことで、学校近くを走る下水道に直通で排水されます。



もちろん、災害時なので下水道インフラが破損していることも考えられます。その場合は貯留型のトイレとして利用することが可能です。こんなにも便利なものが簡単な方法で設置できる技術に驚くばかりです。自分にもできそう、そんな風に思わせてくれる設備でした。

ただ、非常時に、訓練のように冷静に作業できるかどうか自信はありません。落ち着きを取り戻すためには、「いつものように力を合わせて」「いつものような雰囲気」をつくることが大事のように思います。多くの地域の皆様にお集まりいただき共有できたことは、いざという時の力になる、そう感じた訓練でした。